

口退職シテ他ニ轉ゼントスルモノ多ク又自ら  
辭職スルニ至テハ退職手當ヲ得ル能ハザルヨ  
リ職工等ハ相談ヲ重ニ致シ際一同結束シテ當社  
ニ解雇ヲ要請スルコトナリ七月九日組長數  
名代表トナリ工務部長等七ニ對シ全社職  
工全額一百五十名ノ一ヲ解雇シ規定十四日分ノ  
手當ノ外前例ニヨリ勤續一ヶ年毎ニ廿日分ノ  
日給ヲ支給セラレタリト申出テタリ全部長ハ  
之レニ對シ十四日分ノ日給ハ之レヲ認ムヘキ  
モ他ハ会社ノ現状ヨリシテ到底應ズル能ハザ  
ルベシト回答シタリ職工等ハ全部長ノ回答ハ  
誠意ナシト憤リ更ニ実行委員ヲ選ビ会社側ト  
折衝ヲ重ニタルガ会社側ニ於テハ勤續一ヶ年

ニ對シ十日分迄容認スル旨提示セルモ職工等  
ハ之ニ満足セズ十七日職工側委員清水八十雄  
外二十ニ名松方社長ト會見シ社長ヨリ會社ノ  
不況ヲ詳説シ最ニ回答シタリ十日分ノ日給ニ  
テ承諾セラレタリト聲口嘆願的態度ニ出テタ  
ルモ職工側委員ハ容易ニ其ノ主張ヲ極ヤカル  
テ以テ交渉纏ラズ會見約一時同半ニ亘リ一同  
退去シタリ其後數回ノ會見ヲ重ニタルモ決ス  
ル能ハザリセ一日又々職工側委員五名ト會社  
側委員三名ト會見懇談約ニ交渉ヲ進メ會社ハ  
職工ノ要求通り廿日分ヲ容ル、代リニ解雇ノ  
人選ハ會社ノ自由ニ任ス事ニ妥協成リ翌二十  
二日會社ハ職工百五十名中七十五名ノ解雇者